

第14回未来教室 渋谷区立山谷小学校

1、 学校名 渋谷区立山谷小学校

校長 伊佐 玲子

2、住 所 渋谷区代々木2-47-1 TEL 03(3370)6128

最寄駅 小田急 参宮橋駅 歩4分、JR代々木駅 歩8分

大江戸線代々木駅 歩7分

3、授業内容

○ 総合的な学習の時間 (含社会科・国語科)

4、(1) 開催日時 平成24年6月15日(金)

1、2時間目 8時40分～

実施学年 3年生 (32名)

(2) 開催日時 平成24年7月7日(土)

1、2時間目 8時45分～10時25分

実施学年 4年生 (1, 2組—43名) —合同授業

授業場所—体育館

5、授業内容の主題

「インタビューをしよう」(国語、総合的な学習の時間)

」

6、ご協力企業

読売新聞東京本社

担当者 徳毛 貴文 (とくも たかふみ) 氏

当日の様子

6月15日



7月7日



渋谷区立山谷小学校「未来教室」参観記

認定特定非営利活動法人 おやじ日本 学校と企業との連携担当 池田利美

6月15日（金）渋谷区立山谷小学校で行われた未来教室を参観してきました。未来教室でもすっかり定番になりつつある読売新聞東京本社さんの「インタビューをしよう」です。いつもは企業教育研究会から千葉大学の学生の方とのかけ合いで行っていますが、今回は徳毛さん1人ということで、担任の佐野先生が進行役を行い、いつもとはまた違う楽しさを演出してくれていました。

今回のゲストは9名、日頃学校と関係がありながら、あまり直接子供たちと話す機会もなかった近隣の方などが集まってくださり、良い交流にもなったようです。

何と言っても、本物の新聞記者に教えてもらい、「読売新聞」と書いてあるメモ帳を使ってインタビューの勉強をするという中で、とても元気な子どもたちが、終始楽しそうに取り組んでいたのが印象的でした。

仕事を知る、人と触れ合う、情報の大切さを知る、コミュニケーション力をつける等々、色々な点でとても意義深い授業になったのではないのでしょうか。

渋谷区立山谷小学校未来教室観察記録

第4学年 1組担任 山口 先生 2組担任 小川 先生

七夕の土曜日、広い体育館に子どもたちと13名のゲストティーチャーが集まりました。早速、本日の授業内容「インタビュー」の必需品、特に、メモ帳の役割と、特徴を子ども達と共に考えメモ帳が手渡され、自然に授業が進められていきました。

徳毛さんによる、担任へのインタビューの模擬、子ども達の知らない先生の一面が引き出されると、子どもたちの目が輝き始めました。

ここで、記者の伝授するインタビューするに際してのヒントは、参観者の私たちにも参考になりました。ここでおさらいをしてみますと、

その1「**相手が話しやすい雰囲気を作る**」(礼儀が大切ですよ) その2「**読み手が興味を持ちそうなことを見つける**」(インタビューの目的を忘れないで) その3「**突っ込む**」(ここが子ども体の最も苦労するところ)

そして、聞きながらメモをする方法を学びながら、インタビューの準備をし、いよいよゲストティーチャーへの下に。さて、13組のインタビューの様子は、事前に伊佐校長先生に伺っていた通り、地域の方々の子どもたちに対する真剣な対応、子ども達も十分にそれにこたえている様子は、学校と地域の関係の深さが見て取れました。

さて、インタビューが終了し、記事にする内容を想像しながらまとめ、それを、ゲストの方にみてもらい90分の充実した授業が終了しました。

この授業は、国語科の「ことば」の学習でしたが、1, 2組での合同授業、知らない人とのコミュニケーションの取り方、それにかかわる言葉と態度の礼儀など、国語科の授業以外に子どもたちは多くのことを学んだ時間だったと思いました。それは、副校長先生をはじめ担任の先生たちの周到な事前の準備等の学校と体制など、見えないところでの「未来教室」へのご協力があったからこそと、感謝と充実感をもって、学校を後にしました。

(参観記録者 高島信義)